

ES

LEXUS、新型「ES」を発売

— グローバル基幹モデルが、多様な電動車モデルラインアップで全面刷新 —

- HEV とバッテリーEV (BEV) を併せ持つ、LEXUS の次世代電動車ラインアップの先陣を切るモデル
- ゆとりある後席を実現するパッケージと新技術が、すべての乗員に上質で快適な室内体験を提供
- 次世代 BEV のデザインテーマ「Provocative Simplicity」に着想を得た、LEXUS の新しいデザインを体現
- クルマの素性を鍛え上げ、電動化技術で静粛性や乗り心地のさらなる進化を追求



ES350e (ホワイトノーヴァガラスフレーク)

LEXUS は、全国のレクサス店を通じて 2026 年 6 月 11 日に「ES」の新型モデルを発売しました。

LEXUS は、1989 年の創業以来、常にイノベーションの精神を貫き、お客様に新たな技術や価値を提供することに挑戦し続けてまいりました。Japan Mobility Show 2025 では、複数のコンセプトモデルとともに「DISCOVER」—誰の真似もしない—というブランドメッセージを掲げ、お客様一人ひとりにとって唯一無二の体験価値を提供できるブランドとしてさらに変革することを宣言しました。今後 LEXUS は各商品に「DISCOVER」という言葉に続く固有のテーマを付与し、体験価値を定義してまいります。

ESは、1989年にフラッグシップセダンLSとともに販売を開始し、静粛性と乗り心地、広い室内空間が世界中の多くのお客様にご好評をいただき、これまでに80以上の国や地域において販売してきたLEXUSの基幹モデルです。2005年のRX400h発売以降、LEXUSはラグジュアリー市場における電動化の先駆者として、常に優れた走行性能と環境性能の両立を追求しています。これからも多様なお客様や市場のニーズに寄り添いながら、HEV、PHEV、BEVなどの電動車の普及を通じ、カーボンニュートラル社会の実現を目指してまいります。また、電動化技術を用いた基本性能の大幅な進化を実現し、未来のモビリティの在り方を変えるエンジニアリングへの挑戦や、ライフスタイルを豊かにするサービスの追求を通じて、LEXUSならではの体験のご提供を目指してまいります。8代目となる新型ESは、LEXUSの次世代電動車ラインアップの先陣を切るモデルとして、全面刷新を遂げました。新型ESは、「DISCOVER CONFIDENCE」を掲げ、歴代ESが継承してきた長距離でも疲れにくい快適性を磨き上げるとともに、より高い次元でドライバーが自信を持って運転できる性能を実現しました。ゆとりある移動体験によって、乗員全員の心が整う豊かな時間を提供します。また、マルチパスウェイを通じたカーボンニュートラルの実現に向けて、HEVとBEVのパワートレインを提供してまいります。

デザインでは、次世代BEVのデザインテーマ「Provocative Simplicity」に着想を得た表現に挑戦し、新型ESからはじまるLEXUSの新たなデザインを体現。エレガントなデザインをより深化させながら、クリーンで心地良い独自の世界観を創造しました。新型ESのパッケージとセダンが最も美しく見えるプロポーションの両立を追求したエクステリアは、心揺さぶるドライビング体験を予感させる流麗なデザインを実現しています。インテリアでは、物理スイッチを内装に同化させることで、機能性と上質なデザインを両立した世界初^{*1}の「レスポンスヒドゥンスイッチ」や6つの世界観の照明で室内をより居心地の良い空間に仕立てる「インテリアイルミパッケージ」、昼は質感豊かなバンブーの表情、夜は面発光技術により柔らかい光が空間に温かみと奥行きを出すオーナメント加飾「バンブーレイヤリング（面発光）」をLEXUS初採用。広い後席を実現するパッケージを最大限に活かしながら、より心地よく、より上質な室内空間を提供してまいります。また、新型ESでは、標準仕様と“version L”に加え、後席用の装備を充実させた新パッケージ“Rr Comfort package”をラインアップに追加しました。リクライニング、オットマン、助手席前倒し機能などにより、特別な体験価値を提供します。

さらに、クルマの基本素性と電動化技術を徹底的に鍛え上げることで、ドライバーとクルマが一体となり、いつまでも運転していたいと思える操縦性と、すべての乗員がおのずと笑顔になれる乗り心地と快適性を高い次元で両立することを目指しました。その他にも、先進性と利便性を高めた次世代のマルチメディアや、進化したLexus Safety System+などの先進安全技術を積極的に採用しています。

<新型 ES の主な特長>

① 機能的本質や動的性能に根差したプロポーションと独自性の追求

- ・ ESらしさの深化とマルチパスウェイを両立させる、新しいセダンプロポーション
- ・ 空力性能を追求し、走りの良さを想起させるダイナミックなフォルム
- ・ シンプル、クリーンで、開放感と見晴らしの良い室内空間を提供
- ・ “Rr Comfort package”を ES350e に新たに設定

② 静粛性と乗り心地の継承と、走りの深化

- ・ 専用開発したプラットフォームと徹底した体幹強化による、上質な乗り心地の実現
- ・ パワートレーンラインアップを刷新し、電動化による新たなドライビング体験を提供
- ・ ドライバーの意図に忠実な走りを支える電子制御技術

③ LEXUSらしい世界観を体現する最新技術

- ・ 機能性と上質なデザインを両立した世界初*1の「レスポンスヒドゥンスイッチ」
- ・ 6つの世界観を設定し、間接照明と直接照明を織り交ぜて室内の造形や素材を美しく引き立てる「インテリアイルミパッケージ」
- ・ 昼は質感豊かなバンパーの表情、夜は面発光技術により柔らかい光が空間に温かみと奥行きを出すオーナメント加飾「バンパーレイヤリング（面発光）」

④ より安全・安心なドライブに寄与する先進安全技術

- ・ 先進予防安全技術 Lexus Safety System +
- ・ 先進装備による安全・快適の追求

Lexus International チーフエンジニア 千足 浩平

新型 ES では、その伝統的な価値を守り抜くために、新しい時代のセダンとして再定義することを目指しました。セダンはエンジンルーム／モータールーム、居住空間、トランクの3つの独立した空間で構成されており、高いボディ剛性と低重心を実現する工学的な合理性を備えています。私はこれにより実現する優れた乗り心地や操縦安定性、静粛性に大きな魅力を感じています。さらに新型 ES では、デザインとパッケージの工夫で機能に根差した流麗なフォルムと広い居住空間の両立を目指しました。新たに開発した TNGA プラットフォーム (GA-K) により、HEV、BEV の多様な電動車の選択肢をお客様に提供し、それぞれの性能を最大限引き出した個性ある走りを楽しめます。他にも、さまざまな最新技術を積極的に採用し全面刷新することで、これまではない新しい体験をご提供できると信じております。

このクルマの開発では、企画やデザイン、設計・評価などの機能が一堂に会する「トヨタテクニカルセンター下山 (TTC-S)」という現場で、何度も走って壊し直すことを繰り返してきました。その過程において、多くの困難に直面しましたが、良い製品をお届けしたいという想いを一つに関係者一同開発に取り組みました。自動車の開発は理論（構造など）と感性（デザインなど）がお互いを高め合う調和の積み重ねであり、幼いころから音楽やダンスが好きな私にとって、それと通じる面白さや楽しさがあります。その集大成である新型 ES は、次世代 LEXUS の幕開けを象徴するクルマでもあります。すべての乗員の心が整うこのクルマと共に過ごす豊かな時間をぜひともご体感ください。

【新型 ES 主要諸元】

	HEV	BEV	
	ES350h [FWD/AWD]	ES350e [FWD]	ES500e [AWD]
全長	5,140 (+165) mm		
全幅	1,920 (+55) mm		
全高	1,555 (+110) mm	1,560 (+115) mm	
ホイールベース	2,950 (+80) mm		
車両重量	1,830kg/1,890kg	2,100kg	2,200kg
タイヤサイズ	235/55R19	235/55R19 235/45R21	
エンジン	2.5L 直列 4 気筒		
トランスアクスル		eAxe	eAxe (フロント/リヤ)
システム最大出力 (kW [PS])	182 [248]	165 [224]	252 [342]
加速性能 [s] (0-100km/h)	7.7 [FWD] 7.5 [AWD]	8.0	5.5
航続距離		670km*2	636km*2
燃料消費率 [km/L]	25.4 [FWD] *2 24.8 [AWD] *2		
充電時間 (150kW 10-80%)		外気温 25℃ : 約 28 分*3	

() 括弧内は従来型比

*1 2026 年 6 月現在発表済みの車種において、LEXUS 調べ

*2 WLTC モード・19 インチタイヤ装着時

*3 駆動用電池温度が約 25℃の場合に、満充電量の約 10%から約 80%まで充電するためのおおよその時間。バッテリーの残量や外気温、普通/急速充電 (スタンド) の仕様などの条件により、充電完了までに必要な時間が変わります

<凡例>

★：2025年4月23日世界初公開時のプレスリリース以降の追加情報

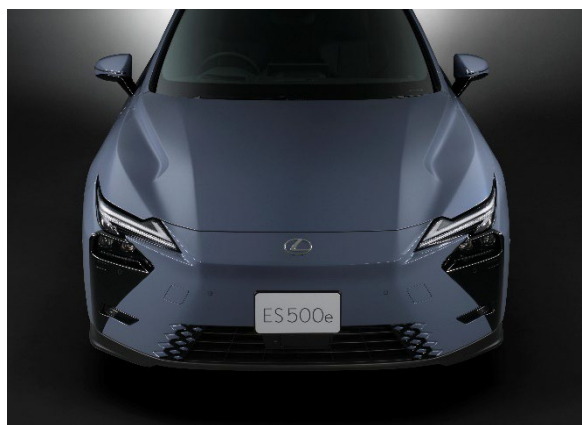
機能的本質や動的性能に根差したプロポーションと独自性の追求

新型 ES では、新しい価値の創造を目指し、デザインコンセプトとして「Clean Tech x Elegance」を掲げました。これまで積み重ねてきた ES らしいエレガントなデザインをより磨き上げるとともに、ES が生み出す機能的価値と情緒的価値を高い次元で融合させ、シンプルでクリーンな世界観を創造しました。エクステリアでは、次世代 BEV のデザインテーマである、挑発的な存在感と研ぎ澄まされたシンプルなデザインを意味する「Provocative Simplicity」に着想を得て、床下へのバッテリー搭載と室内の居住性を両立させる全高をベースに、セダンが最も美しく見えるプロポーションを追求。電動化にふさわしい新世代のスピンドルボディを実現しました。また、室内の居住性と荷室の実用性を確保しながら大胆に絞ったボディトップとサイド、絞り量を調整したフロント、リヤのバンパーコーナーは、空力性能の向上にも寄与します。インテリアは、時の移ろいや環境変化の中で、その時々的美しさを感じられる日本ならではの美意識を表した LEXUS の思想「Time in Design」から生まれた「Time is Luxury」の概念のもと開発。車内空間をリビングのようにお使いいただけるよう、クルマと過ごす時間が心地よく、良い時間になることを重視しています。造形美というハード面のデザインに加え、光や音などソフト面の開発にも注力し、人の感性に寄り添う空間をデザインすることで、室内で過ごすより豊かな時間を提供してまいります。

▽エクステリアの主な特徴

<ESらしさの深化とマルチパスウェイを両立させる、新しいセダンプロポーション>

- ・ 新型 ES では、トランクレスな印象の流麗なフォルム、リヤへと強く絞り込まれたキャビン、大胆な平面立体嵌合をテーマとするロアボディを特徴とし、タイヤの存在感を際立たせた力強いスタンスとダイナミックで切れ味のある佇まいを有する新世代のスピンドルボディを表現しました。床下へのバッテリー搭載を考慮しながら、セダンが最も美しく見える全長、全幅、全高のバランスを追求すると同時に、優れた乗降性にも寄与するデザインとしています。また、セダンにおいて重要なタイヤ位置についても 1mm 単位で調整することで、ワイド&ロースタンスを実現しました。



新世代のスピンドルボディ

- ・フロントは、正面でのスピンドルの造形に加え、フード面からバンパーコーナーまでを包括するエッジの効いたスピンドル形状を表現し、LEXUSの独自性をさらに進化させています。低いノーズからはじまるスピンドルボディとセダンらしい水平軸のフェンダーとの高低差で表現したフロントフェイスは、大胆で低く構えた独創的な印象をもたらします。また、HEVモデルでは、冷却性能確保のため、アッパー部に薄型のグリルを採用しています。

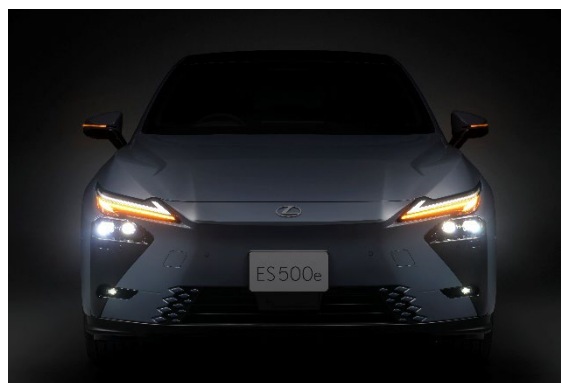


BEV モデル



HEV モデル

- ・次世代の新しいデザインアイコンとして採用した「ツインLシグネチャーランプ」は、内向きのデイトタイムランニングランプと外向きのターンランプを組み合わせ、LEXUSの独自性をさらに向上させるとともに、ターンランプとして視覚的な機能性を高めています。



ツインLシグネチャーランプ

- ・サイドでは、全高の高さを感じさせずに引き締まった印象を持たせる平面立体嵌合により、リフトアップ感と低重心なプロポーションを両立させました。空力性能に寄与する張り出したショルダートと、トランクレスな印象を持たせるワンモーションシルエットが、力強いスタンスを表現しています。

<空力性能を追求し、走りの良さを想起させるダイナミックなフォルム>

- ・リヤでは、リヤタイヤとトランクエンドに向けて抜ける塊の動きにより ESらしい流麗さを表現。リヤに向かって大胆に絞り込み、走りの良さを想起させる低重心スタンスとしました。また、ボディ後方の傾斜角とバンパー平面の絞り込みを最適化し、より空力性能を向上させることで、燃費・電費性能にも貢献します。
- ・リヤにも一目でLEXUSと認識できる新しいデザインアイコン「リヤLシグネチャーランプ」を採用しました。



ES500e(ノウ)

- ・LEXUSの発光ロゴと一体化した一文字のランプから、テールランプ、ストップランプ以外の機能を外に配置し統合。車両外側の低い位置に配置することで、ボディの絞りを強調しながらワイドスタンスを表現するとともに、空力性能の向上にも貢献するデザインとしました。



リヤLシグネチャーランプ

＜お客様の様々なご利用シーンにお応えするボディカラー＞

- ・ボディカラーには、新色を含む7色を設定。ビジネスからプライベートまで、様々なご利用シーンでお使いいただけるカラーラインアップを提供します。新色の「ソウ」は、BEVのクリーンなイメージを表現する、ブルーエフェクトがハイライトに現れるソリッドライクカラーです。



ボディカラー：ソウ

▽インテリアの主な特徴

＜シンプル、クリーンで、開放感と見晴らしの良い室内空間を提供＞

- ・室内空間を構築するにあたり、セダンとして優れたパッケージの実現を目指しました。プラットフォームの設計段階から骨格を見直し、従来型より全長を165mm、ホイールベースを80mm延長し、広々とした室内空間を確保。また、着座位置を高く設定することで、乗降性を向上させるとともに、視点の高さがもたらす見晴らしも確保しています。さらに、室内空間を構成するシートやトリムなどをできる限り薄型とし、フロントやサイドのウィンドウ枠下端を低くしガラス面積を大きくすることで、開放感を得られるよう拘りました。これら取り組みにより、デザインコンセプトである「Clean Tech x Elegance」に基づき、視界の良い開放的なアッパーと人を包み込む口ア部を基本構成に、シンプルでクリーンなインテリア空間を創出しました。

- ★開放的な空間づくりに寄与する薄型パノラミックルーフ（アウトースライド方式）は、広いガラス開口と薄型可動ガラスユニットにより、開放感とゆとりある頭上空間を実現。



薄型パノラミックルーフ(アウトースライド方式)

★インストルメントパネルのオーナメント加飾では、精緻で緻密な幾何学パターンでモダンな空間を演出する「マイクロジオメトリックパターンフィルム」を設定。センターコンソールには、「マイクロジオメトリックパターンフィルム」に加え、シンプルでクリーンな世界観を際立たせる「モダンバンパー」*1を設定しました。ドアトリムには、昼は質感豊かなバンパーの表情、夜は面発光技術により柔らかい光が空間に温かみと奥行きを出す「バンパーレイヤリング（面発光）」*1や、緻密でシャープなエンボスパターンとアンビエントによりシンプルでクリーンな世界観を際立たせる「シンセティックレザーエンボッシング」をLEXUS初採用しました。

バンパーレイヤリング（面発光）は昼と夜で表情を変える二面性、なめらかに揺らぐ光の動き、そして乗る人の感情に寄り添う繊細なイルミネーション演出で五感に響くレクサス独自の体験へと誘います。



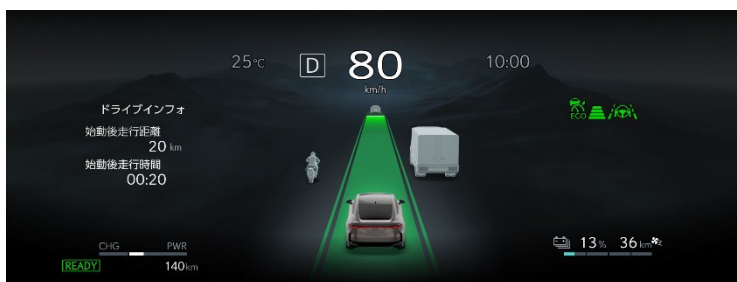
バンパーレイヤリング（面発光）

加えて、Mark Levinson™ Surrounding System*2のスピーカー配置の最適化により、立体的な音場を実現するとともに、音と光に包まれる空間を演出します。

・新型ESのコックピットは、質感を高める特殊コーティングを施した12.3インチの異形液晶メーターを採用しました。高さを低く抑えたメーターフードによりスムーズな視線移動とオープンな雰囲気演出し、スエード素材と光の演出の組み合わせで上質なインテリア空間と融合させています。



BEV コックピット



BEV メーター表示イメージ

★室内空間を最大限に活かす “Rr Comfort package” を ES350e に新設定

- ・新型 ES に“Rr Comfort package”を新規設定しました。ビジネスからプライベートまで幅広いシーンで、新型 ES ならではの広々とした室内空間を最大限に活用するため、オットマン、リヤシートリクライニング、助手席可倒などを装備。また、リヤシートベンチレーションやリヤシートヒーター、エアブラダー方式のリフレッシュシートなどにより、後席の快適な移動体験を提供します。



ES350e “Rr Comfort package”

*1 「モダンバンパー」と「バンパーレイヤリング（面発光）」は、ES350e“version L”と“Rr Comfort package”、ES500e“version L”のみの設定

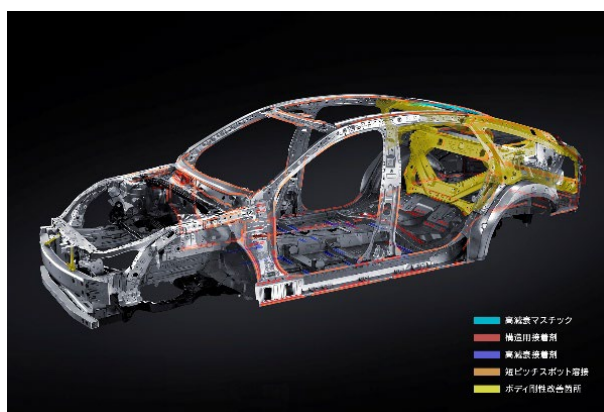
*2 マークレビンソン、Mark Levinson は、ハーマンインターナショナルインダストリーズ社の商標です

静粛性と乗り心地の継承と、走りの深化

すべての乗員がリビングにいるかのような快適な時間を過ごせるよう、ESの美点である優れた静粛性と乗り心地をさらに磨き上げるとともに、HEVとBEVそれぞれのパワートレйнの特性を活かし、LEXUSらしい走りの深化を追求しました。ボディ剛性を見直すことで体幹を鍛えたことはもちろん、マルチリンク式サスペンションやDynamic Rear Steering (DRS) *1を採用したほか、LEXUSがこれまで培った電動化技術を積極的に活用。あらゆるシーンで減速、操舵、加速がシームレスに繋がる気持ち良さなど、ドライバーの意図に忠実でリニアな応答を目指す「Lexus Driving Signature」をより高い次元へと引き上げています。

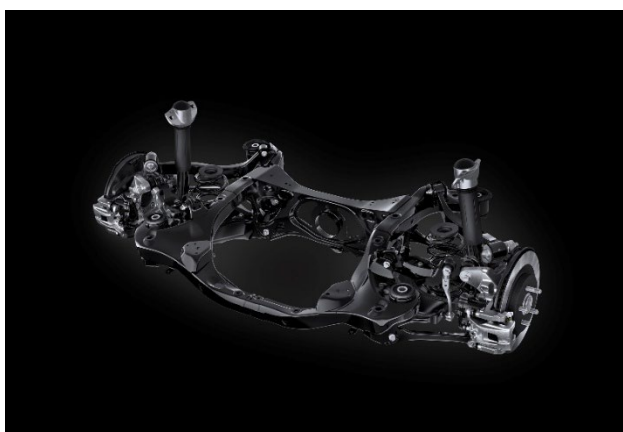
<専用開発したプラットフォームと徹底した体幹強化による、上質な乗り心地の実現>

- ・ 新型ESでは、専用開発を施し刷新したTNGAプラットフォーム(GA-K)を採用し、HEVとBEVのパワートレйнの設定を可能としました。また、走りの味に統一感を持たせるためにLEXUSがモデル横断で取り組む走りの「味磨き」の知見を取り入れながら、フロントエンド、フロア、リアエンドの剛性を強化。徹底した体幹強化により、ボディの振動を抑制するとともに、クルマの大きさを感じさせない、ドライバーの意図に忠実で素直なステアリング応答性や加速・減速レスポンスを実現しています。



ボディ構造

- ・ サスペンションは、フロントにマクファーソンストラット式サスペンションを採用。リアには、路面への駆動力の確実な伝達とスムーズな車両姿勢変化の両立に寄与するマルチリンク式サスペンションをESとして初採用しました。サスペンションアームのブッシュ特性を改良し、より上質な乗り心地を実現しています。また、Dynamic Rear Steering (DRS) を搭載*1し、車速に応じて後輪を前輪と逆相/同相に最大4度転舵させることで、低速域ではコーナリング時の優れた回頭性や取り回しの良さを、高速域では高い車両安定性を実現しています。



リアサスペンション

- ・ AVS 搭載モデルでは、減衰力切り替えの応答性に優れたリニアソレノイド式を採用。より素直なステアリング応答性と上質な乗り心地を高い次元で両立させています。
- ・ ステアリングには、バリアブルラックギアを採用。高速域の安定性とコーナリングでのクイックなレスポンスを両立することに加え、低速域での取り回しの良さにも寄与しています。
- ・ フロントシートは、ドライバーがクルマの挙動を素早く認知、判断し、より正確に操作できる運転姿勢を確保しやすいよう、構造を見直した新規開発のシートを採用しました。肩甲骨を支えるシート構造は操舵時の筋負担を軽減し、背中が沈み込みやすいシートバックがドライバーの姿勢保持をサポート。ドライバーがよりクルマと対話しやすいドライビングポジションを提供します。
- ・ 室内の快適性を最大限に高めるために、静粛性も追求しました。高遮音タイプのドアガラスと、それを支えるシール部材の改良により、室外からのノイズの侵入を低減。また、吸音材／遮音材／制振材の分量や厚みをチューニングし、それぞれの部位に最適配置することで、より自然でバランスの取れた音響空間を提供します。

＜パワーtrainラインアップを刷新し、電動化による新たなドライビング体験を提供＞

新型 ES では、カーボンニュートラルへの貢献、多様化するお客様のニーズにお応えするために、多彩なパワーtrainをラインアップ。各パワーtrainの特性を生かしながら、ES としての走りのコンセプトに拘り、徹底的に作り込みました。

- ・ HEV では、新 25L 直列 4 気筒ハイブリッドシステムを初採用しました。動力性能にさらに磨きかけた ES350h をラインアップし、AWD モデルも設定します。パワーコントロールユニットとトランスアクスルを一体化した「eAxle」がパワーユニットの小型軽量化に寄与しているほか、バッテリーの高出力化を実現。25L 直列 4 気筒エンジンとの組み合わせと専用の制御ロジックにより、優れた加速性能と低燃費を高次元で両立させています。加えて、パワーユニットの剛性強化により、パワーユニットに起因する振動を控え、静粛性にも寄与します。
- ・ BEV では、**670km*1**の航続可能距離を実現する FWD モデルの ES350e と、AWD モデルの ES500e を設定します。LEXUS がこれまで培った電動化技術を積極的に活用しながら、専用開発を施し刷新した TNGA プラットフォーム (GA-K) の良さを最大限に引き出すシステムを採用しました。加えて、BEV 専用の大容量電池を床下に配置することで、低重心化と安定した走行性能を実現しています。また ES500e では、路面や走行状態を問わず常に四輪駆動力を緻密に制御する「DIRECT4」を採用。電動化技術が実現するより優れた操縦安定性と、運転する楽しさを両立させています。ES500e に採用する四輪駆動力システム「DIRECT4」は、車輪速センサー、加速度センサー、舵角センサーなどの情報を用いて、発進加速性、操縦安定性の向上、低電費に貢献。LEXUS が培ってきた電動化技術と車両運動制御技術を融合し、ドライバーの感性に寄り添った走りを実現しています。

*1 WLTC モード・19 インチタイヤ装着時

LEXUSらしい世界観を体現する最新技術

室内空間を可能な限りシンプルにするために開発した「レスポンスヒドゥンスイッチ」や6つの世界観を室内照明で美しく際立たせるインテリアイルミパッケージなど、LEXUSらしい世界観を体現する最新技術を採用しています。

<機能性と上質なデザインを両立するレスポンスヒドゥンスイッチ>

- ・スイッチの設計においても、人の感性に寄り添うことに拘りました。頭上付近やドアのスイッチには、直感的な操作をしやすいように物理スイッチを採用。一方、ステアリングやインストルメントパネル部には新開発した「レスポンスヒドゥンスイッチ」を採用し、スイッチとして優れた機能性や操作性を有しながら、シンプルでクリーンな室内空間の創出に寄与しています。
- ・レスポンスヒドゥンスイッチは、人の操作をさりげなく支えることに拘り、人の感覚や感性に寄り添う日本の美意識であるおもてなしの心を、テクノロジーを全面に出さないスッキリとしたデザインで表現した世界初*1の物理スイッチです。物理スイッチを内装に同化させるデザインが、シンプルな室内空間を実現。手をかざすことで機能アイコンが点灯する無から有に移ろう感覚は、機能表示と素材の融合という新しい体験価値を提供します。アイコンは機能ごとにレイアウトされており、必要なスイッチを選びやすいよう考慮。静電タッチパネルのようにシンプルな見た目でありながら、しっかりとした押下感のあるスイッチを採用することで、押し間違いを防ぐようにデザインしています。



レスポンスヒドゥンスイッチ（消灯時）



レスポンスヒドゥンスイッチ（点灯時）

★<6つの世界観間接照明と直接照明で室内を美しく際立たせるインテリアイルミパッケージ>

車内での過ごし方が多様化する中、新型ESはすべての乗員にリビングのような快適な時間を提供することを目指し、自然体でくつろげる室内環境の実現に注力して開発しました。お客様のニーズに応えるべく、機能と居住性の調和を追求しています。

照明は、美しい自然現象に着想を得た14色のフィクストカラーと、好みに応じて選べる50色のカスタムカラーを採用しました。さらに、レクサス初となる、色相の異なるLED光源を一定の時間で変化させたダイナミックカラーを設定。「奏」「幽玄」「幻想」「移ろい」「閃光」「鼓動」の6つの世界観で、独自の光の空間を演出します。車内の造形や素材の美しさを際立たせると同時に、気分に合わせて照明を切り替えてお楽しみいただけます。



インテリアイルミパッケージ “奏”

★＜新世代マルチメディア採用＞

LEXUS 初の新世代マルチメディアを採用しました。メーターディスプレイとセンターディスプレイが連携する思想のもと設計され、音楽プラットフォームとの連携や、アプリケーションの自由な配置による高いカスタマイズ性を実現しています。さらに、ソフトウェア開発プラットフォーム「Arene」を採用し、今後も OTA*²を通じて機能や乗員の体験価値を進化させてまいります。

*1 2026年6月現在発表済みの車種において、LEXUS 調べ

*2 OTA : Over The Air

<先進予防安全技術 Lexus Safety System +>

LEXUS はモビリティ社会の究極の願い「交通事故ゼロ」を掲げ、安全技術開発を進めています。世界トップレベルの先進安全技術をより早く開発し、より多くのクルマに普及させていくことが重要という考えのもと、新型 ES では最新の Lexus Safety System +を採用。より広く、より遠くまで対象物を認識できるように進化し、対応事故シーンを拡大します。また、一般道等、複雑な環境でも継続的な支援を提供できるよう、機能・センサーの利用可能範囲を拡大することで安心感と利便性を向上し、運転負荷の低減に貢献します。さらに、これらの進化に応じて、車両周辺の情報をより分かりやすくメーターディスプレイに表示することで、お客様の安全・安心なドライブにより一層貢献します。

▽主な性能向上機能

- ・レーダークルーズコントロール（全車速追従機能付）は、先行車減速シーンや、自車前方への割り込みシーンでの減速早期化により安心感を向上し、高速道路走行時の運転をより快適にします。さらに、エコランモードと、地図連携機能*1を新たに追加しました。エコランモードは、加速をより緩やかにし、燃費を重視した穏やかな追従走行を行うことで、レーダークルーズコントロール走行中の燃費向上に貢献します。地図情報と連携した機能では、従来の減速支援に加え、一時停止などの道路標識、丁字路、ラウンドアバウト、料金所などに対する減速をサポートします。カーブ手前の減速でも、地図情報の活用によりその性能をより向上し、道路形状に合わせて減速をサポートすることで、安全・安心な運転に貢献します。
- ・レーンチェンジアシスト [LCA*2*3] は、起動操作や車線変更の速さを見直し、より簡単でスムーズな車線変更を支援します。さらに、作動車速を拡大し、より幅広いシーンで支援を可能とするほか、ドライバーの操作と協調したハンドル支援を行うことで、さらなるお客様の安全・安心な運転に貢献します。
- ・プリクラッシュセーフティ [PCS*4] は、交差点での出会い頭のシーンにおいて、警報およびブレーキの作動車速を広げることで、これまでよりも広い車速域で衝突回避を支援、あるいは衝突被害の軽減に貢献します。
- ・ドライバーモニター*1では、カメラを用いてドライバーの視線や顔向きなどの状態を観察し、新たに眠気の兆候を検知した場合にも、ドライバーへ注意喚起を行うことでお客様の運転をサポートします。
- ・ドライバー異常時対応システム*5は、従来の機能に加え、高速道路及び自動車専用道を走行中に動作した際に路肩に寄せて停車する機能*1を追加します。
- ・新開発の高精細式アダプティブハイビームシステム [AHS*6] を採用。これにより、従来の AHS より細やかなハイビーム制御により、夜間の優れた視認性に貢献しています。また、前方車両の遮光も従来の横方向に加え、高さ方向にも対応。周辺歩行者に対してハイビームを部分的に減光させる機能も追加しています。

<先進装備による安全・快適の追求>

- ・ブラインドスポットモニター [BSM*7] は、従来の機能に加え、自車の側方を走行している自転車、バイクを検知し、注意喚起を行うことで、事故防止を支援します。
- ・パノラミックビューモニターは、LEXUS 初採用となる新開発の 3D ビューにより、ドライバーの周辺確認をサポートします。画面のスイープ操作により、ドライバーの好きな視点から周囲を見ることができます*8。クルマを透かした状態で視点を移動できるようにすることで、全周囲を確認しやすくしました。

*1 地域/仕様によって異なります

*2 LCA=Lane Change Assist

*3 高速道路や自動車専用道路（一部を除く）を走行時、レーントレーシングアシスト [LTA=Lane Tracing Assist] 制御中に作動

*4 PCS=Pre-Collision System

*5 レントレーシングアシスト [LTA] 制御中に作動

*6 AHS=Adaptive High-beam System

*7 BSM=Blind Spot Monitor

*8 シフト P ポジションで動作

★【メーカー希望小売価格】

(単位:円)

		エンジン	駆動	価格* (10%消費税込み)
ES350h		A25A-FXS (2.5L 直列 4 気筒)	FWD	7,900,000
			AWD	8,100,000
ES350e	"Rr Comfort package"	/	FWD	9,200,000
	"version L"			8,800,000
	7,900,000			
ES500e	"version L"		AWD	9,200,000
				8,300,000

※リサイクル料金は含まれません

以上